

杉

—
すぎはじめ



100年後の市民が 住んで良かったと思える まちづくり

～後の世代にまちを引き継ぐことは現世代の使命です～

一定の自立をしなければこのまちも私たちの生活も立ち行かなくなります。

ナウルという国をご存知ですか？面積は伊丹市より一回り小さく人口1万人ほどの南太平洋にある世界で3番目に小さな国です。ここではかつて“磷鉱石”という天然資源が取れ、とても豊かな国でした。そのため、医療・教育は無料で、更に全国民に年金が支給され、働かなくても過ごせました。しかし、その資源はいずれ枯渇することが分かっていたためナウル政府としても収入対策を行い、その中に国民に労働を促す政策がありました。しかし、上記のような環境のため、国民は働くことを忘れ、豊かすぎた政策がたたり、糖尿病罹患率が世界の中でも突出して高くなっています。

これは現実の話といえども、特殊な例です。しかし、今の社会を鑑みたときに「自立」が忘れられているのではないのでしょうか。特に政治の世界では、票を得られやすくするため、安易に「〇〇というサービスを実現します！」「〇〇のサービスをタダにします！」といった政策を掲げる方がいらっしゃいます。

行政サービスとして、新規または拡充していくべきものは多くあります。

しかし、「行政がやるべきこと」「市民・地域・団体などの民間と行政で協力してやるべきこと」「民間でできること」を見極めて取り組んでいかなければならないと考えています。

そして、最小の行政体である“市”でこそ「自立」に向けた取り組みが必要です。

政治で訴えていることは、明日すぐに来るものではありません。

一歩ずつでも前に進め、**現状を鑑みながら未来を見据えて、「100年後の市民が住んで良かったと思えるまちづくり」**に邁進することが私の使命です。

★3期12年で取り組んだこと (一部抜粋)

安全に通行できる街を 駅前駐輪対策

以前



現在



H27. 11 設置

H21.3月議会で提案 (市議会初!) 路上駐輪ラックが設置され駅前駐輪環境が大幅に改善

未来に負担を残さないために 公共施設マネジメント

伊丹の公共施設はS.44~S.50に集中して建設される → 更新、補修、建て替えの時期も集中

■建設を進めた時期と異なり、現在は一斉に更新、補修、建て替えする財源を用意できない。

⇒計画的な更新、補修と財政計画が必要

■市は現存する全ての施設を更新、建て替えすると450億円の収支不足と試算。

⇒施設の整理、縮小、統合が必要

H22. 3月議会で提案
(市議会初!)

施設の調査
専門部署の設置
費用試算

H23
公共施設白書作成
H26
施設マネジメント課設置
H29~
公共施設整理の計画を発表

★これからの取組み (一部)

新設及び拡充すべきサービス		さらなる活性化を	未来に責任を持つ	
より安心の医療環境を	いつまでも健康に	伊丹空港国際線復便	公共施設マネジメント	学びたいまち伊丹へ
伊丹を含む地域に高度急性期に対応する病院設立。そのため県議や近隣市議と連携を図ります。	75歳以上の歯科検診の無料化。 20歳の歯科検診創設。 介護予防のため百歳体操のさらなる普及促進。	伊丹経済の活性化や交通の利便性に繋がる伊丹空港国際線復便に向け、近隣市議と連携し、国に訴えていきます。	施設の複合化などを図りながら、未来に負担を残さないようにします。	上昇傾向にある伊丹の学力。この傾向を続けられる取組を提言し、教育の街伊丹にしていきたいです。

プロフィール

昭和55年(1980) 4月18日生まれ
昭和62年(1987) 白ゆり幼稚園卒園
昭和62年(1987) 荻野小学校入学
平成5年(1993) 花里小学校卒業
平成8年(1996) 松崎中学校卒業
平成11年(1999) 伊丹西高校卒業
平成15年(2003) 神戸学院大学
法学部卒業

平成15年(2003) 尼崎信用金庫入庫
平成18年(2006) 政治活動に専念するため同庫を退職
平成19年(2007) 1期目当選
平成23年(2011) 2期目当選
平成27年(2015) 3期目当選

3期目4年間に就いた議会役職
会派 新政会 代表
都市企業常任委員会委員
総合戦略及び総合計画検討特別委員会委員長
監査委員(議会選出)
総務政策常任委員会委員
議会改革特別委員会委員

連絡先

電話：070-5437-7790
メール：itami@sugi-hajime.net
ホームページ：http://www.sugi-hajime.net

すぎはじめ 検索

杉一 公式フェイスブックページ
杉一の最新情報はこちらからいいね👍をよろしくお願致します。

